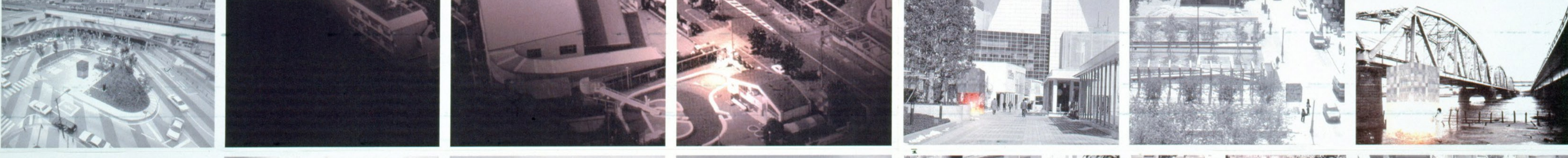
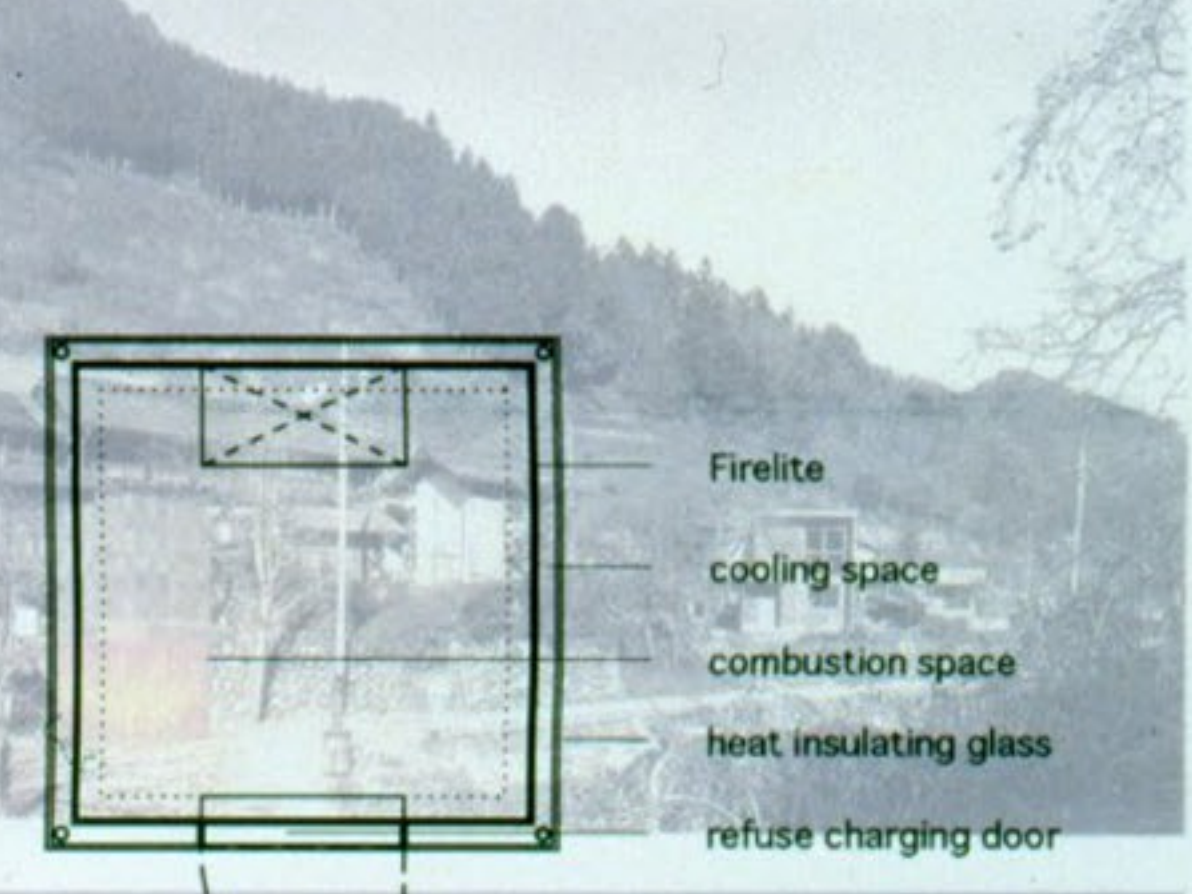
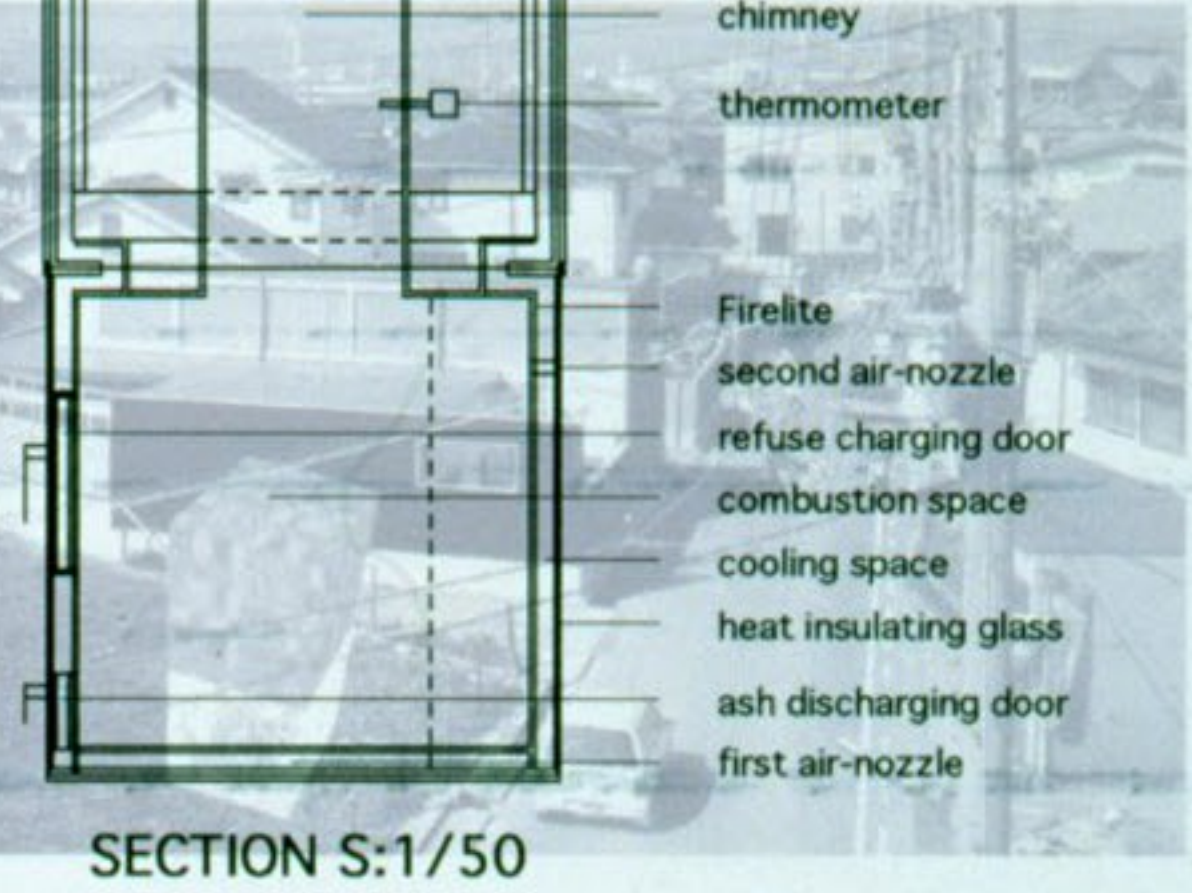
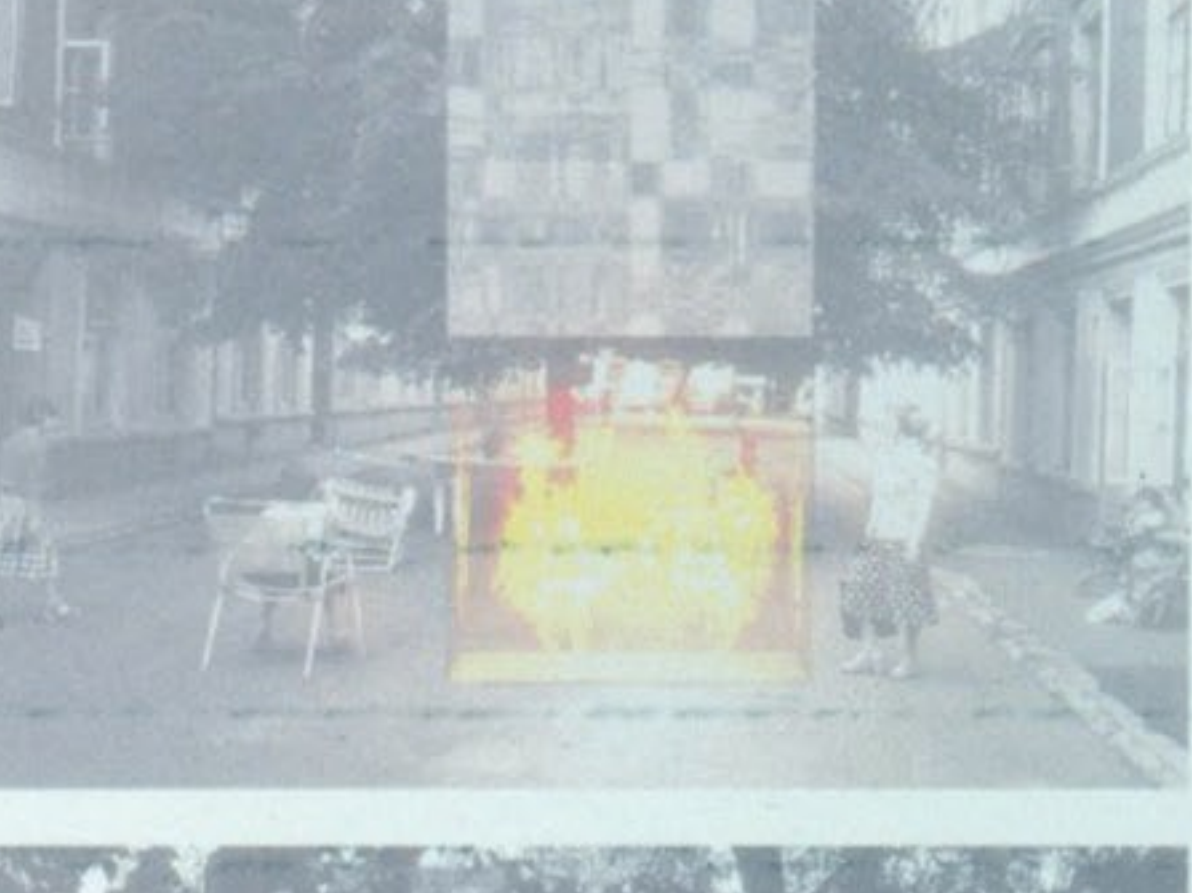
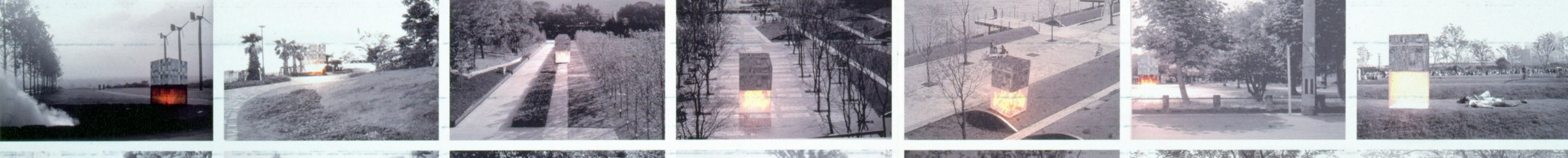




これまで地域単位で使用されてきた小規模な焼却設備は、その性能が不十分であったために、ダイオキシン等の汚染物質を放出し続けていたことが明らかになった。



**CONDITION FOR NON DIOXIN**  
 temperature >800°C (< refractorness of Firelite )  
 time >2s  
 turbulence Co<math>\leq 30\text{ppm}</math>



有害物を抑制する超高温に耐えうる新しいガラス素材が登場し、廃棄物を安全に処理できるガラスの焼却炉が生まれる。  
 廃棄物を高温で焼却し光と灰に還元するガラスの箱があらゆるところに置かれていく。  
 ガラスに囲まれた炎が、都市を照らし続ける。



**+800°C**  
**GLASS INCINERATOR**